

未来の紀の川市を描こう！

紀の川市

未来共創 ワークショップ



実施
報告書

令和7年12月



目次

1. 実施概要	2
2. 実施結果	5
4. 参加者アンケートの結果	23



▲未来共創ワークショップ集合写真

1. 実施概要

未来共創ワークショップの開催概要

次期総合計画に幅広い層の意見を取り入れるため、未来共創ワークショップを実施しました

対象	紀の川市のまちづくりに興味がある 紀の川市にお住まいの方 または 紀の川市へ通学・通勤されている方
参加者数	約25名 ※事前申し込み者数は25名(最終29名)であるが、各回で欠席があったことから概数で記載
実施時期	第1回:令和7年10月25日(土)13:30~15:30 第2回:令和7年11月15日(土)13:30~15:30 第3回:令和7年11月29日(土)13:30~15:30 第4回:令和7年12月13日(土)13:30~15:30
実施場所	紀の川市役所7階ラウンジ
目的	参加者のみなさんに紀の川市の現状を知り、未来について話し合っていただき、紀の川市がめざす「将来像」を作り上げる

未来共創ワークショップの実施内容

まちの将来像を市へ提案することを目的とし全4回のワークショップを実施しました

第1回

紀の川市って どんなまち！？

紀の川市のよいところ、足りないところ(ヒト・モノ・場所など)について意見を出し合おう！



グループワーク

- 紀の川市のよいところ
- 足りないところ

第2回

紀の川市はどんなまち になってほしい！？

10年後の紀の川市はどんなまちかイメージし、キャッチフレーズを作成してみよう！



グループワーク

- まちの将来像

第3回

紀の川市の今後の まちづくりって！？

紀の川市の未来の姿の実現のためにやるべき取組について意見を出し合おう！



グループワーク

- まちの将来像
- まちの将来像実現のためやるべきこと

第4回

紀の川市の将来像を 市に提案する！

これまでみんなで作成したものを使って、市にまちの将来像のフレーズ及びそれに込めた想いを提案してみよう！



グループワーク

- まちの将来像の提案

ワークショップ結果の活用

次期総合計画の各施策の
現状・課題整理や具体的な取組の検討材料

ワークショップ結果の活用

次期総合計画の将来像や
まちづくりの目標の
検討材料

ワークショップ結果の活用

次期総合計画の具体的な
取組の検討材料

ワークショップ結果の活用

次期総合計画の将来像や
まちづくりの目標の
検討材料

2. 実施結果

第1回 紀の川市ってどんなまち！?-実施手順

まちの現状を把握するため、まちの“よいところ”と“足りないところ”を話し合いました

第1ラウンド 「紀の川市のよいところと 足りないところ」

①個人ワーク(5分)

- 紀の川市のよいところと足りないところのキーワードを付箋に書く
(*付箋1枚にキーワード1つ)

②グループワーク(15分)

- 付箋をグループで共有し、模造紙上で同じような意見を集めて整理する
- 模造紙上で、グルーピングした意見に見出しを付ける

③意見まとめ(5分)

- グループで話し合った内容をまとめて、模造紙を整理する



第2ラウンド 「紀の川市のよいところと 足りないところ」

①ホスト共有(5分)

- ホストから第1ラウンドでの意見を新たなメンバーに共有する

②グループワーク(10分)

- ホストからの共有を踏まえて、追加の意見を出し合い、模造紙上で整理する



第3ラウンド 「紀の川市のよいところと 足りないところ」

①ホスト共有(5分)

- ホストから第2ラウンドでの追加意見を戻ってきたメンバーに共有する

②グループワーク(5分)

- ホストからの共有を踏まえて、追加の意見を出し合い、模造紙上で整理する



第1回 紀の川市ってどんなまち！?-実施結果

	紀の川市のよいところ	紀の川市の足りないところ
A グループ	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かで心地よい 都市圏(大阪府)に近い 人柄があたたかい すこしやすい気候 災害が少ない <ul style="list-style-type: none"> 物流、県外(海外)との仕事 農業・介護の仕事が多い 給食が無料 野菜、くだものが美味しい 学童保育が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場 出産施設 子どもの安全性 都会に行くと戻ってこれない 高学歴の仕事がない <ul style="list-style-type: none"> 都市圏への道路が未整備 ショッピングモール的な複合施設 安全な避難場所 新しい人と話す機会
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な農作物 四季折々の自然環境 フルーツ王国 あつたかい市民 子育てがしやすい <ul style="list-style-type: none"> おいしいパフェ 歴史遺産 大阪に近い オンデマンドバス 関空が近い 	<ul style="list-style-type: none"> インフラ整備 公園 電車、バス ショッピングモール 企業など働く場所 <ul style="list-style-type: none"> 紀の川市にちなんだイベント 情報発信力 高齢者が生活しにくい 父親の子育て支援
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> 静か 適度に田舎 気候が温暖 自然豊か 大阪と奈良が近い <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない くだものがおいしい 人がやさしい 子育てが充実 公共施設が比較的立派 	<ul style="list-style-type: none"> あそび場など子どもの居場所 週末出かけられるところ にぎわう場所 情報が少ない 移住につながるしくみ <ul style="list-style-type: none"> 産科のある病院 地元がうるおう企業 文化的な活動 仕事場 旧5町の意識が深い
D グループ	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断が受けやすい 介護予防の取組が積極的 図書館など公共施設が便利で立派 空気がきれい <ul style="list-style-type: none"> 風景がきれい 住民同士のつながりがある 季節ごとに果物がある パラグライダーがある 災害が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の放置対策 住民がもっと参加したくなる行事 高齢者へのサポート 人口減少への対応 <ul style="list-style-type: none"> バスの本数を増やしてほしい 住み良くするルール 各町のつながりが密になるほうがよい フルーツ産地めぐりで活性化
E グループ	<ul style="list-style-type: none"> 静かな環境 都會に比べ人が穏やか 野菜、フルーツが豊富 土地が安い 子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> 移住者支援 産業・流通の便が良い 道が混みにくい 転入者が増加傾向 災害が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 交通が不便 新たな人口と交流がない 文化推進 図書館の蔵書 人口減少 <ul style="list-style-type: none"> 高学歴の仕事がない 安全な避難場所がない 遊ぶ場所がない 休日過ごす場所がない

第2回 紀の川市はどんなまちになつてほしい！？ -実施手順

未来のまちを思い浮かべ、まちの将来像を表す言葉を書き出し、フレーズを作成しました

個人ワーク(15分)

①ターゲットを設定しよう！

- 観光客、転入者、市外からの在勤者、市に居住する子どもたちなど誰にむけて将来像のフレーズを書くのか？を明確にする

②伝えたい内容を考えよう！

- ターゲットに、まちの未来への想い、まちの強みや魅力、課題への挑戦、協働の姿勢など何を伝えたいか？どう思ってほしいか？を考える

③個人ワークの内容を共有しよう！

- 個人ワークシートを使って、自身で考えたターゲットと伝える内容をグループのみんなに共有する



グループワーク(30分)

①フレーズをつくろう！

- 個人ワークで出た意見から共通するワードを将来像を表現するにふさわしい言葉を選択し、表現に工夫してフレーズを作成する

②想いを込めてまとめよう！

- まちの将来像を表すフレーズをとりまとめ、フレーズに込める想いを話し合い整理する

③発表の準備をしよう！

- 最後に発表するために、議論した内容を模造紙に整理する



発表(15分)

①全体に発表しよう！

- 作成した模造紙を使って、本日の議論の成果を1グループ5分でみんなに共有する



第2回 紀の川市はどんなまちになつてほし！？-実施結果

ももぶるチーム

<WSで出た主な意見>

- 既住者と転入者が共存するまちにしたい
- 若い世代の挑戦を上の世代が支え、世代間交流を促進し顔見知りになることで災害対策につなげたい
- 一人ひとりの力をを集め協働し、新しいものを創り出したり、伝統を受け継いでいきたい



田園とし
せだいこうりゅう
ちからをあつめる

いちごつぶるチーム

<WSで出た主な意見>

- 特産であるフルーツなど重点産業である農業を重点させたい
- 生活に必要な医療や福祉の安全と安心を確保したい
- 多様な人が集まるコミュニティが連携する仕組みを構築し、個々の力を合わせて大きな力にし、よりよい紀の川市を目指したい



豊かな実り
安全安心
共生でシェアする紀の川市

じくぶるチーム

<WSで出た主な意見>

- 旧5町が実質的に合併し公民館活動や縦割りの解消を進めることや、行政と市民が同じ温度感で市政に取り組める仕組みづくりが必要である
- 市の魅力の体験や教育体制の充実、地域の高等教育機関との連携、文化活動の活性化を図りたい



自然あふれる
住みよいまち

きうぶるチーム

<WSで出た主な意見>

- 安心して自分らしく過ごせ、季節を感じられる環境にしたい
- 体験や学びが充実し多世代・他地域・異業種との交流ができる場にしたい
- 挑戦しやすくサポートやインフラ整備も充実し距離にとらわれず夢を追えるまちにしたい



のびのび・ふむふむ・わくわく

さくぶるチーム

<WSで出た主な意見>

- さまざまな年代の人が途切れることなくつながる仕組みや場所が必要である
- 紀の川市の特徴であるフルーツ王国を表現したい
- 街灯などを含め紀の川市が輝き煌めくまちをめざしたい



ぶるっと煌めく
共生のまち



第3回 紀の川市の今後のまちづくりって！？ -実施手順

まちの将来像のブラッシュアップとまちの将来像実現のための取組について話し合いました

グループワーク(70分)

①まちの将来像を表すフレーズをブラッシュアップしよう！

- 第2回未来共創ワークショップのフレーズをもとにブラッシュアップしよう！

②将来像に込めた想いをひと言で表そう！

- グループで考えた将来像を込めた想いを、事務局案を参考に考えてひと言にまとめましょう！

③将来像を実現するためにやるべき取組を考えよう！

- 将来像を実現するためにやるべき取組を付箋に書き出しましょう！(※付箋1枚に取組1つ)

④発表の準備をしよう！

- 第3回のさいごに発表するために、議論した内容を模造紙に整理しましょう！



発表(25分)

①全体に発表しよう！

- 作成した模造紙を使って、本日の議論の成果を1グループ5分でみんなに共有しましょう！



第3回 紀の川市の今後のまちづくりって！？-実施結果

“まちの将来像”“将来像に込めた想い”“将来像を実現するための取組”を考えました
また、実施結果は13ページ以降に整理しています



第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施手順

“まちの将来像”“将来像に込めた想い”“将来像を実現するための取組”を市長に発表し意見交換を実施しました

グループワーク(40分)

発表の準備をしよう！

- 第3回欠席者へ作成状況を共有し、さいごに発表するために模造紙に整理しましょう！
- 第3回で使用した模造紙をそのまま使って構いません。もし清書したい場合は新しい模造紙をお渡しします。
- 本日発表する人を決めてください。



個人ワーク(10分)

未来を共創するための宣言をしよう！

- 「未来共創」の想いを込めて、市民みんなでより良いまちにしていくために、紀の川市の未来に向けた意気込みを宣言しましょう！



発表(50分)

発表をしよう！

- 作成した模造紙を使って、未来共創ワークショップの成果を1グループ10分以内でみんなに共有し市長と意見交換を行いましょう！



第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！-実施結果(ももぶる)

わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市の姿

世代交流 力を集める

持続可能な  でんえんとし

将来像に込めた想いを
一言で表すと

将来像に込めた想い

持 続 可 能

SDGs

でんえんとし
せだいこうりゅう
ちからをあつめる！！

具体的な取組

アメダス
フルVer

安全な
避難場所

学生が
来やすい
<学校
・電車>

外国人とも
交流できる

若い人と
高齢者が
交流できる
(場)

郷土料理
の
伝承！

農・住の
調和

道
県道62号

大阪の
協力

かづらぎ町ではなく
住みたい場所1位に!!must

※ 上記は原文の内容をそのまま掲載しています。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(ももぶる)

わたしたちがのぞむ
10年後の紀の川市の姿

世代交流 力を集める 持続可能な でんえんとし



発表概要

- ✓ 世代や住民同士の交流を大切にした持続可能な田園都市づくりを将来像に設定した。
- ✓ 田んぼの野焼きなど昔からの住民と新しい住民の間には課題があるため、皆で話し合いルールや知恵を共有することが大切だと考える。交流の場では高齢者の知恵や若者の力、外国人の意見も活かし、多様な視点を取り入れたい。また、郷土料理の継承にも力を入れ、世代を超えて食文化を伝えていきたい。交通インフラや安全な避難場所の確保、道路の拡張も重要であると考える。また、天気予報に紀の川市が掲載されるようにしてほしい。
- ✓ 紀の川市の魅力を高め、住みたい町1位を目指して協力していきたい。

市長コメント

- ✓ 天気予報について、アメダス観測器がかづらぎ町に設置されている。紀の川市に設置するよう要望する。
- ✓ 道路整備について、大阪府との連携が課題であり難航しているが、京奈和関空連絡道路のトンネル構想など進める。
- ✓ 農業と町の調和や持続可能なまちづくりは今後も重要である。合併20周年を迎え、これからも世代交流を進め、新しい紀の川市の姿を皆さんと共に作っていきたい。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(じくぶる)

わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市の姿

自然あふれる住みよい町

将来像に込めた想いを
一言で表すと

将来像に込めた想い

住民が
主役

1人1人
が活躍
できる

賑わい

数ではなく
質

生涯教育、地産地消の社会づくり
(1人1人の意識を高揚させた
地域発展づくりの創出)

具体的な取組

旧5町各地
区のわけへ
だてない生
活

最低限のイ
ンフラ 水
道・道路など
の将来像を
考える

廃校
空き家
の利用

医療の充実
(福祉等)

・住民同士の
対話の場所
・行政と市民
の対話の場所

地域の拠点

観光

生涯学習
の充実

学びたい時
に学べる環
境 情報共有

地域
活動
充実

働く場所の
確保

中高生等の
ふるさと学
習の充実

農業

いやしの農業
かせぐ農業

防草管理
農地活用し
て保全

農業
地産地消

休耕地荒地
の活用

竹藪をなく
す(荒れ地
解消)

後継者問題
の解決

荒れた休耕
地の活用 い
やし農業の
発展(できれ
ば収入に)

※ 上記は原文の内容をそのまま掲載しています。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(じくぶる)

わたしたちがのぞむ
10年後の紀の川市の姿

自然あふれる住みよい町



発表概要

- ✓ 紀の川市は豊かな自然に恵まれた住みやすいまちである。住民一人ひとりが主役となり、質の高いまちづくりを目指したい。
- ✓ 旧町ごとでインフラや医療福祉の格差を感じるため、分け隔てのない環境整備が重要である。また、廃校や空き家を活用し、住民と行政が対話できる場や地域活動・観光の拠点にしたい。さらに、地産地消や農業の活性化、全世代が学び成長できる場づくり、そして持続可能な働く場所の確保も大切である。
- ✓ 住民一人ひとりが意識を高め、みんなでより良い紀の川市をつくっていきたい。

市長コメント

- ✓ 行政に任せるだけでなく、市民一人ひとりが自覚を持って地域づくりに参加していただくことは本当に心強い。
- ✓ 人口減少は全国的な流れですが、「数ではなく質を重視する」という考え方も大切だと感じた。
- ✓ 行政としては廃校や地域拠点の活用、最低限のインフラ整備など、役割をしっかり果たしながら、地域ごとの特色やバランスを考えて住民サービス向上に努める。今後も皆さんのお意見を参考にし、より良い街づくりに取り組む。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(きうぶる)

わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市の姿

のびのび・わくわく・ふむふむ

将来像に込めた想い
を一言で表すと

未来へ！！

成長

★子どもたちが大きくなった時、もっと
自由に羽ばたける!!
つながる
★大人になっても帰ってきやすい、来や
すい、関わりやすい、あったかい場所

将来像に込めた想い

★「のびのび」

・みんな自分らしく安心して過ごせる・季節を感じる

★「ふむふむ」

・体験や学びが充実している・多世代との交流・他地域との交流・異業種交流

★「わくわく」

・なんでも挑戦しやすい、サポートがある(インフラの整備も!!
(ソフト・ハードの充実) 距離であきらめない)

具体的な取組

防災(防犯) 対策	地域の つながり コミュニティー の活性化	のびのび	
住み良い 環境がある (ソフト &ハード)	あらゆる面で “つながり” を大事に	駅前 (JR打田など) 活性化	旧町の垣根を 超える (取り壊す)
おもちゃ 美術館 (導入、参考)			

地域の文化 伝統を 大切にする	ふむふむ		
粉河たんじり串 のつみ木を(紀 の川市産の)フ ルーツの木でつ くって1.6健診 のときにはわたす など…	いろんな経験 ができる 環境がある	ウッドスタート (木育、健診で、 生後、プレゼント 等)	たま電車 もっとPR！！
誇りの 醸成	つどいの 居場所	人財 (あえて財) 育成	

わくわく

近畿大学との 交流など	公共交通の 充実	スクールバス 交通の充実	グルメ (食育メ ニュー)	天候に 気にせず あそび場
先進的な 技術が 身のまわりに ある	月1マルシェなど いろんな人が出 店したり買い物 したりにぎわう 駅前(子どもも 参加)	のりあい タクシーの 充実	紀の川市の 郷土メニュー、新 しいメニュー ⇒廃校でレスト ラン	廃校利用

※ 上記は原文の内容をそのまま掲載しています。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(きうぶる)

わたしたちがのぞむ
10年後の紀の川市の姿

のびのび・わくわく・ふむふむ



発表概要

- ✓ 「のびのび」「わくわく」「ふむふむ」をキーワードに、10年後の紀の川市の姿を考えた。住民が自分らしく安心して暮らせる環境、多世代や地域と交流し、様々な体験や学びが得られるまちを目指したい。
- ✓ 新しい挑戦にサポートがあり、交通インフラや地域基盤が整い、伝統や文化も大切にしたい。また、防災強化やコミュニティ活性化、廃校や空き家の活用、子どもが安心して遊べる場づくり、マルシェやグルメイベントの開催などを通じて、住民がのびのびと成長し、わくわくできる紀の川市をみんなで目指したい。

市長コメント

- ✓ 「のびのび」「わくわく」「ふむふむ」というキーワードを大切にし、特に子どもたちが安心して成長できる環境づくりに力を入れたいと考える。例えば、幼児期から英語を遊びながら学べる機会を設け、自然に力を伸ばせるような取り組みを進めている。
- ✓ また、旧町の垣根を越え、地域が一つになって協力していくことも重要である。おもちゃ美術館や室内公園など、子どもや家族がのびのび過ごせる場所づくりにも挑戦したい。
- ✓ 子どもたちが将来、誇れるふるさととして帰ってきたくなるような紀の川市をみんなでつくっていきたい。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(いちごっぷる)

わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市の姿

農と食、文化と人がつながる紀の川市！

将来像に込めた想いを
一言で表すと

医食同源
不易流行 つながり

将来像に込めた想い

紀の川市固有の文化資産とフルーツの気づき、発信、活用を通して
人が集まり誇りをもてる未来に広がるまち

具体的な取組

紀の川市が持つ ・“文化資源”の発信 ・誇り持	歴史 ほりおこし	紀の川市の豊かな文化資源を気づき発信活用	”命”がキーワード	・保田龍もん作品 16点ある ・かなんとよかん⇒そこにはねむつて る ・せいしゅうの資 りょうかんに保かん	(問題提起)	年配の方との交流 文化知識 ★発信会・交流会の実施	インバウンド対象→食(ヘルスツーリズム)→健康になってから	人が交流できる場所	事業支援してもらえる場所	意見出した後どう実行していくか重要と考えます	
紀の川市の歴史遺産の可視化、明文化PR	文化発信	・国分寺(聖武天のう) ・清洲の里 ・粉河寺	生命	⇒聞きに井口さんが聞く	昔の文化人⇒外に出ていく→なぜ中になどまらない	・青洲の集まり⇒紀の川市のよき歴史を広めていく集まりがある	フルーツストーリー 物語化するフルーツの歴史	フルーツパル “居酒屋めぐり 食を楽しむ”→フルーツのバージョン	それぞれバラバラに活動されている団体がある	・フルーツパル一つくってくれ会長に言った⇒つくった井口さん	行政半分市民半分で進める
フルーツの町以上に歴史が深い	緯度が同じ ・歴史が深い ・発信すべき	・華岡青洲⇒もっと全国とつながる→門人の医りようさぐ日記出でくる	桃谷薬の人 に青洲が教えてもらつてた⇒儒学	★地域にとどめとくしかけ必要⇒食べにいくところがない！	⇒活動にきてくれた人をその後バラバラ	年配の歴史を知る方との交流	交流によつてつながる→より大きな力になる	農、一般→商品化 プロデューサーにいつでも支援してもらえる場所	長計の見直し会(現状・進行状況共有・報告会、市民の声が届く場)		
⇒市役所	・青洲の関連ある施設との連けい ・チバ県印西市青洲考案の医りようさぐ展示	桃谷順てん館、社長、会長に会う	小学校あまた廃校の活用⇒飲食業をする⇒農業にもつながる	・ナラ、もつていく商品化とか持ち込んで⇒小学校のはいこう利用	気づき発信活用						

※ 上記は原文の内容をそのまま掲載しています。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(いちごっぷる)

わたしたちがのぞむ
10年後の紀の川市の姿

農と食、文化と人がつながる紀の川市！



発表概要

- ✓ 紀の川市の未来像として「つながり」を重視した。
- ✓ 紀の川市はフルーツのイメージが強いが、華岡青洲など歴史や文化も豊かである。こうした文化遺産や知識を発信し、世代や団体同士の交流を深めることで、人が集まり誇りを持てる町にしたいと考える。個人や小さな団体同士がつながることで、商品開発や事業支援にも力を発揮できる。
- ✓ 今後は市民と行政が協力し、意見を出すだけでなく、実際に行動へとつなげていくことが重要だと感じる。

市長コメント

- ✓ 紀の川市は華岡青洲のような世界に誇れる偉人を輩出し、医療や農業でも豊かな歴史がある。これらの偉人や文化を活かし、語り部や勉強会、地域の学校と連携した活動を通じて、住民が誇りを持てる町づくりを進めたい。
- ✓ また、和歌山県立医科大学薬学部などの連携、農学部の誘致など研究機関との協力も重要である。さらに、フルーツをはじめとする農産物の輸出や品種改良、研究機関の誘致にも力を入れ、世界に通用する紀の川市を目指したい。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(さくぶる)

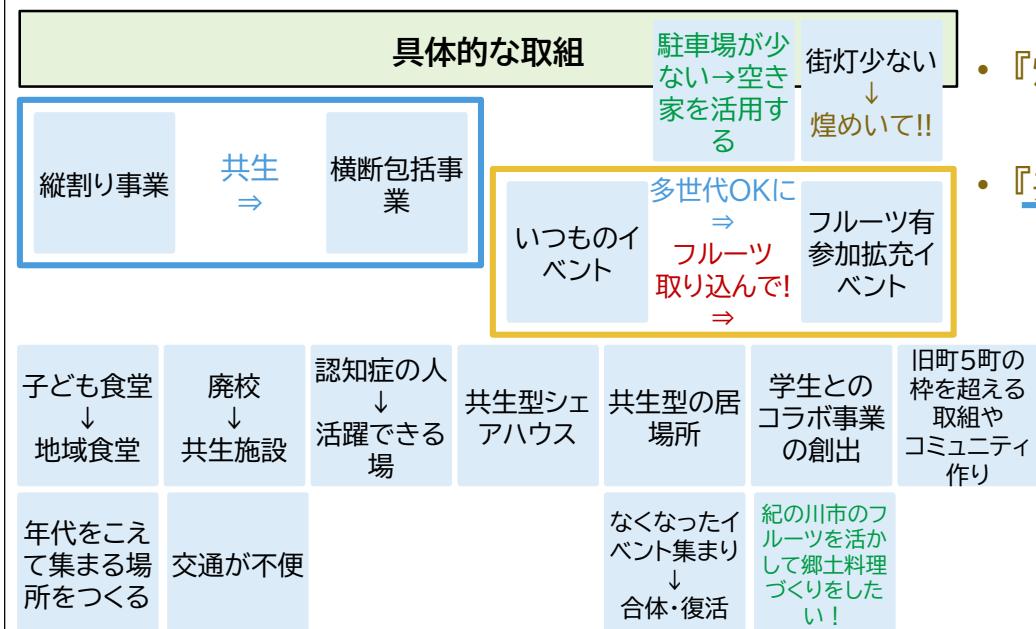
わたしたちがのぞむ10年後の紀の川市の姿

ぶるっと煌めく共生のまち

将来像に込めた想いを
一言で表すと

共生

将来像に込めた想い



- ・『ぶるっと』…… フルーツ王国↑↑
更なるパワーアップ
- ・『煌めく』…… 輝く：強い光
煌めく：小さなキラキラした光
- ・『共生のまち』……
 - 子ども・学生・親・働き世代・高齢者・障害者・認知症・移住者・他地域

まちにいる様々な人たちが
キラキラと活躍
できるまちに！！



※ 上記は原文の内容をそのまま掲載しています。

第4回 紀の川市の将来像を市に提案する！ -実施結果(さくぶる)

わたしたちがのぞむ
10年後の紀の川市の姿

ぶるっと煌めく共生のまち



発表概要

- ✓ 「ぶるっと煌めく共生のまち」という将来像には、紀の川市のフルーツのように多様な人々が小さな光となって輝いているようすと表現した。子どもや高齢者、障害のある方、外国人など様々な世代や背景を持つ人が、互いに支え合い、活躍できる共生の町を目指したい。
- ✓ イベントや施設も特定のターゲットに絞るのではなく、多世代・多様な人が参加できる形にし、フルーツも活用した取り組みを進めたい。
- ✓ みんながキラキラと輝ける、やさしく包み込むまちづくりを目指したい。

市長コメント

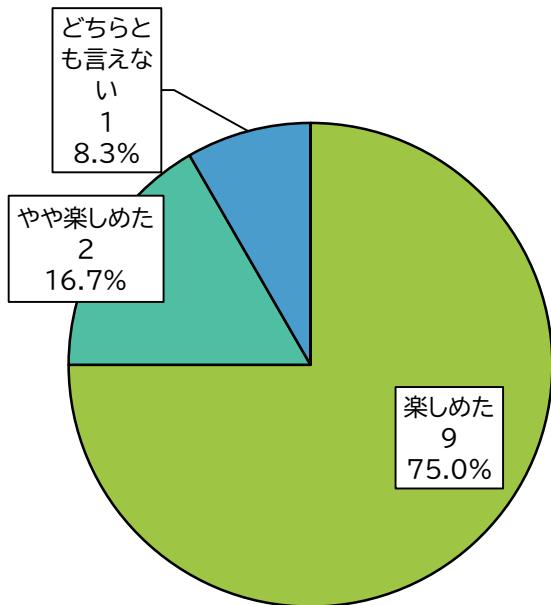
- ✓ 共生のまちづくりについて、改めてその大切さを実感した。
- ✓ 紀の川市には子どもから高齢者まで様々な方がおり、お互いを認め合い、理解し合うことが共生の基本だと考える。例えば、認知症については職員がVR体験で本人の立場を学ぶなど、実践的な取り組みも実施している。また、公園をインクルーシブにし、車椅子の方も一緒に楽しめるようにするなど、誰もが共に過ごせる環境づくりを目指している。
- ✓ 縦割りではなく、横断的にみんなでつながることが大切だと感じた。今後も共生のまち・紀の川市を目指して取り組みたい。

3. 参加者アンケートの結果

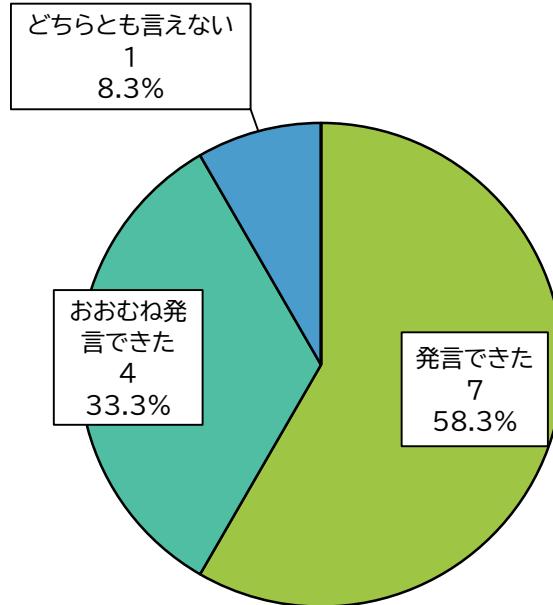
参加者アンケートの結果

全4回の未来共創ワークショップを通じたアンケートの結果は以下のとおりです

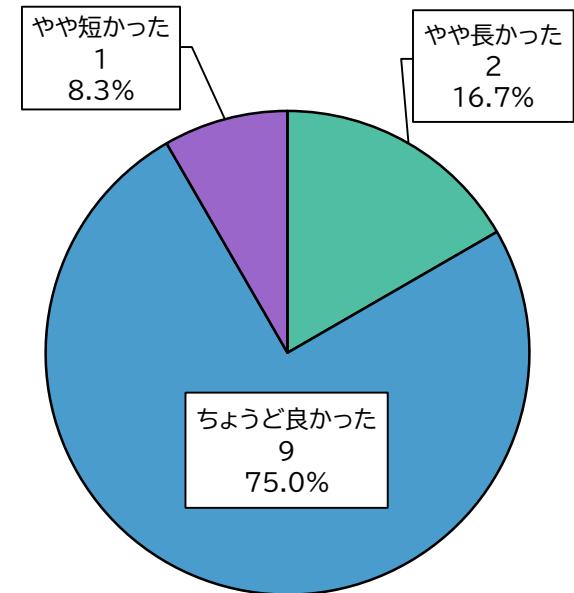
- 本日の未来共創ワークショップはお楽しみいただけましたか？



- 本日の未来共創ワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？



- 本日の未来共創ワークショップでの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？



未来共創ワークショップの満足度の結果

- 未来共創ワークショップの満足度は、「楽しめた」(楽しめたとやや楽しめたの合計)が91.7%となっています。

発言機会の満足度の結果

- 発言機会の満足度は、「発言できた」(発言できたとおおむね発言できたの合計)が91.6%となっています。

話し合い時間の評価の結果

- 話し合い時間の評価は、「ちょうど良かった」が75.0%と半数以上で、「やや長かった」が16.7%、「やや短かった」が8.3%となっています。

参加者アンケートの結果

全4回の未来共創ワークショップを通じたアンケートの結果は以下のとおりです

- まちの将来像に必ず盛り込んでほしいキーワードを自由にお聞かせください。

- でんえんとし
- 文化と人がつながる。
- 共生
- 数より質が大事
- みんなが主役の紀の川市
- 行政と市民、市民同士のつながり
- 安全安心 豊かな暮らし 共生
- のびのび、ふわふわなどのキーワードがすごく素敵だったので盛り込んでほしいです。
- あとは、煌めくというキーワードです。
- 共生
- 力と知恵を出し合う、集める。
- ぷるっと煌めく(これはたしかに聞こえ方も、印象も可愛くて頭に残りやすいと思いました)
- 共生
- 共創
- SDGs
- 持続可能

まちの将来像のキーワード

- まちの将来像のキーワードは、「共生」「つながり」「煌めく」などが挙げられました。

- まちの将来像を実現するために自分にできることを自由にお聞かせください。

- 近大の学生に紀の川市の魅力を伝える。
- 地元イベントへの積極参加をします。
- 名手病院はコミュニティホスピタルを目指します！
- もっといろんなことに興味をもつことの大しさ
- 交流できる場に積極的に参加する
- 点を線でつなぐ。
- 強みのフルーツを活かした戦略提案
- こういう機会に積極的に参加しようと思いました！
- できる事はしたいです
- 私は福祉事業で勤めていますので、もっと自身の力や貢献の質を高め、人が繋がり力を出し合える場所づくりやイベントの機会を作っていくたいと思います。
- 自分の資質をあげる努力
- 意見の発信(議会への訴求)

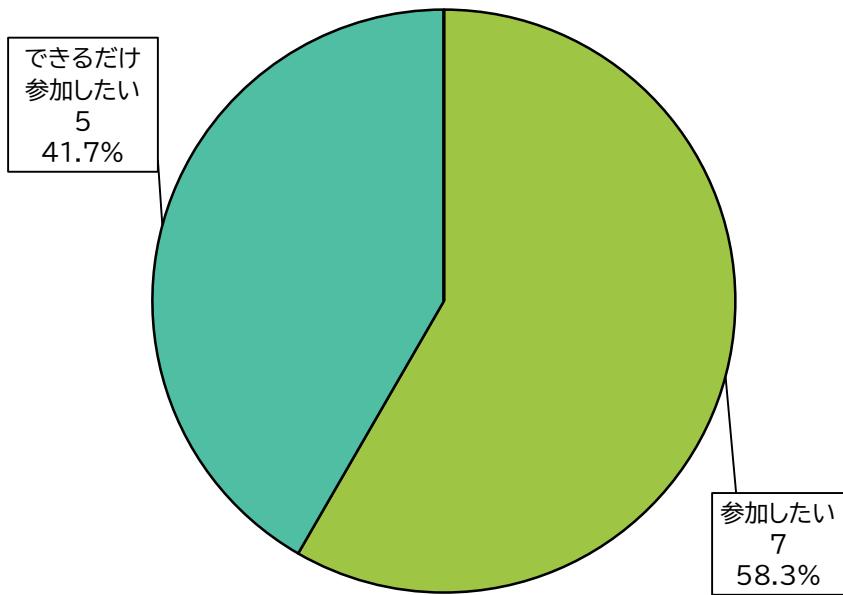
まちの将来像実現のために自分にできること

- まちの将来像実現のために自分にできることは、「地域イベントや交流の場への参加」「市の魅力発信」などが挙げられました。

参加者アンケートの結果

全4回の未来共創ワークショップを通じたアンケートの結果は以下のとおりです

- 未来共創ワークショップ以外で今回のように紀の川市の施策や取組について話し合う機会があれば、また参加してみたいと思いますか。



今後の参加意向の結果

- 今後の参加意向は、「参加したい」(参加したいとできるだけ参加したいの合計)が100.0%となっています。

- 未来共創ワークショップ全体をとおして、感想を自由にお聞かせください。

項目	件数	主な意見
交流やつながり	3件	<ul style="list-style-type: none">● 楽しかったです。色々な方と繋がりが持てました。ありがとうございました！● 色んな方との出会いや、情報に出会い、自分自身の視野も広がりました。前向きな話をしていく時間はとても楽しく貴重な経験でした！またこんな企画にはどんどん参加したいです！● 市の職員さんも一生懸命やってくれているのが解って良かった。
今後への期待	2件	<ul style="list-style-type: none">● 充実出来ました。またこの様な機会があれば参加させて頂きたいです。ありがとうございました。● 真の共創にして下さい。
会議運営	1件	<ul style="list-style-type: none">● いつもお休みのところ準備等、ありがとうございました。

未来共創ワークショップの感想

- 未来共創ワークショップの感想は、多様な人とのつながりや視野が広がる楽しい貴重な経験ができたという感想が多く、また今後も参加したいという前向きな意見がありました。